

## 2. ルート帯に関するご意見

<ルート帯の検討における5つのキーワード>

① 将来のまちづくり支援と都市活動の利便性向上

② 大沢野道路が担う機能、役割

③ 周辺環境への影響と環境保全対策

④ 地域分断問題の解消

⑤ 建設コストの低減方策

2つの「ルート帯」について、皆さんから以下のようなご意見をいただきました。  
ルートに関しては、2つのルート帯に多くの意見を頂いております。今後、具体的なルート案を提示し、皆様からの意見を公表し共有できるよう努めながら、地元と行政或いは地元の中での対話を進めていきたいと考えています。

### 「第1案. 神通川ルート帯」を支持する意見

- 将来のまちづくり①を考えて、市街地からルートをや遠ざけて中心部を活かすことが必要だと思います。
- ルート帯はできる限り市街地から遠ざけ、騒音、振動、排気ガス、日照確保などの影響③を少なくしてほしい。また、交通事故の危険性を回避④することもできるのではないのでしょうか。
- できる限り地域分断を回避④するべきです。市街地が分断されてしまいます。
- 住宅が密集する市街地は避け、住宅移転をできる限り少なくする⑤べきです。市街地ルート帯にすると、せっかく整備した社会資本を犠牲にしています。
- 神通川沿いの低・未利用の公有地や民有地を活用すれば、土地の確保が容易⑤で無駄なコストを削減でき、工事期間の短縮を図ることができるため効率的だと思います。

### 「第2案. 市街地ルート帯」を支持する意見

- 市街地（居住地）に近く便利①です。市街地への行き来が短時間でできます。少しでも市街地に近接することにより道路を利用する人も多くなると思います。
- 大沢野町の都市活動に貢献①することができるのでは。町の発展、活性化に寄与①するのではないのでしょうか。
- 国道41号に近いほど、大沢野道路を利用する車両が増え国道41号の渋滞が緩和③されるのではないのでしょうか。
- 自然環境や景観の保全③から考えると、神通川の自然環境は後世に残すべきです。遺跡や埋蔵文化財③も保全すべきです。

### その他の意見

- 大沢野道路が市街地から離れると、現在の国道41号線沿線が閑散①とするのではないのでしょうか。
- 旅客、物資の輸送を目的とした車両は大沢野道路を通行させ、従来の道路（国道41号）との性格の違い②を明確にしたほうがよいと思います。
- 将来の市町村合併をにらんで、東西の隣接町村の利便性②を考慮したほうがよいと思います。
- 2つのルート帯の利便性に大きな差はないので、建設費用の少ない方を選択すべき⑤です。
- 費用対効果の十分に得られるルート帯⑤がよいと思います。

いずれかのルート帯が「良い・悪い」とする意見のほかに、どちらが良いかでなく検討の視点を提起されている方も多くみられました。



※意見の文中にある丸付き数字（③）は、各キーワードの番号と対応しています。